

# 平成 22 年分 年末調整書類の提出について

今年も年末調整の時期が近づいてきました。以下書類を配布いたしますので、記入・証明書等を添付の上、総務部まで提出をしてください。

## 1. 配布資料

書類種類	内容																																																			
<p><b>平成 22 年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書</b></p> <p>平成 22 年分 給与所得者の扶養</p> <p>(この申告書は、あなたの給与について配偶者控除や扶養控除、障害者控除 この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人がいない人も提出 この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうち</p> <table border="1"> <tr> <td>所轄税務署長</td> <td>給与の支払者の名称(氏名)</td> <td>(フリガナ) あなたの氏名</td> </tr> <tr> <td>税務署長</td> <td>給与の支払者の所在地(住所)</td> <td>あなたの住所又は居所</td> </tr> </table> <p>あなたに控除対象配偶者や扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生のいずれにも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分等</th> <th>氏名</th> <th>あなたの続柄</th> <th>生年月日</th> <th>老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)</th> <th>特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)</th> <th>職業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 控除対象配偶者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B 扶養親族</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	税務署長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	区分等	氏名	あなたの続柄	生年月日	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)	特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)	職業	A 控除対象配偶者							B 扶養親族	1			同 配偶等・その他			2			同 配偶等・その他			3			同 配偶等・その他			4			同 配偶等・その他			5			同 配偶等・その他			<p>平成 22 年分の年末調整に使用します。昨年の年末調整のとき、平成 22 年に扶養親族等が変更になったとき、入社したときに記入したものを返却します。内容を確認の上、変更がある場合には赤字で訂正してください。</p>
所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名																																																		
税務署長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所																																																		
区分等	氏名	あなたの続柄	生年月日	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)	特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)	職業																																														
A 控除対象配偶者																																																				
B 扶養親族	1			同 配偶等・その他																																																
	2			同 配偶等・その他																																																
	3			同 配偶等・その他																																																
	4			同 配偶等・その他																																																
	5			同 配偶等・その他																																																
<p><b>平成 22 年分 給与所得者の保険料控除申告書 兼 給与所得者の配偶者特別控除申告書</b></p> <p>平成 22 年分 給与所得者の保険料控除申告書 兼</p> <table border="1"> <tr> <td>所轄税務署長</td> <td>給与の支払者の名称(氏名)</td> </tr> <tr> <td>税務署長</td> <td>給与の支払者の所在地(住所)</td> </tr> </table> <p>◆給与所得者の保険料控除申告書◆</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保険会社等の名称</th> <th rowspan="2">保険等の種類</th> <th rowspan="2">保険料又は半額払戻金</th> <th rowspan="2">保険等の契約者の氏名</th> <th colspan="2">保険金等の受取人</th> </tr> <tr> <th>氏名</th> <th>あなたの続柄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般の生命保険料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個人年金保険料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">年金の支払開始年月日</td> <td></td> <td>合計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">①又は②の金額</td> <td>控除額の計算式</td> <td>①一般の生命保険料</td> <td>②個人年金</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25,000円以下</td> <td>①又は②の金額</td> <td>①の金額を②の計算式に</td> <td>②の金額を①</td> </tr> </tbody> </table>	所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	税務署長	給与の支払者の所在地(住所)	保険会社等の名称	保険等の種類	保険料又は半額払戻金	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人		氏名	あなたの続柄	一般の生命保険料						個人年金保険料						年金の支払開始年月日				合計		①又は②の金額			控除額の計算式	①一般の生命保険料	②個人年金	25,000円以下			①又は②の金額	①の金額を②の計算式に	②の金額を①	<p>平成 22 年分の年末調整に使用します。自宅に届いている各種保険料の証明書を確認の上、記入してください。生命保険料控除、地震保険料控除等、証明書の添付も忘れずをお願いします。</p> <p>配偶者特別控除を受ける場合には、配偶者の合計所得額をきちんと確認してください。</p>									
所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)																																																			
税務署長	給与の支払者の所在地(住所)																																																			
保険会社等の名称	保険等の種類	保険料又は半額払戻金	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人																																																
				氏名	あなたの続柄																																															
一般の生命保険料																																																				
個人年金保険料																																																				
年金の支払開始年月日				合計																																																
①又は②の金額			控除額の計算式	①一般の生命保険料	②個人年金																																															
25,000円以下			①又は②の金額	①の金額を②の計算式に	②の金額を①																																															
<p><b>平成 23 年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書</b></p> <p>平成 23 年分 給与所得者の扶養</p> <p>(この申告書は、あなたの給与について配偶者控除や扶養控除、障害者控除 この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人がいない人も提出 この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうち</p> <table border="1"> <tr> <td>所轄税務署長</td> <td>給与の支払者の名称(氏名)</td> <td>(フリガナ) あなたの氏名</td> </tr> <tr> <td>税務署長</td> <td>給与の支払者の所在地(住所)</td> <td>あなたの住所又は居所</td> </tr> </table> <p>あなたに控除対象配偶者や扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生のいずれにも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分等</th> <th>氏名</th> <th>あなたの続柄</th> <th>生年月日</th> <th>老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)</th> <th>特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)</th> <th>職業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 控除対象配偶者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">B 控除対象扶養親族(16歳以上)(平成11.1以前生)</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>同 配偶等・その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名	税務署長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所	区分等	氏名	あなたの続柄	生年月日	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)	特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)	職業	A 控除対象配偶者							B 控除対象扶養親族(16歳以上)(平成11.1以前生)	1			同 配偶等・その他			2			同 配偶等・その他			3			同 配偶等・その他			4			同 配偶等・その他			5			同 配偶等・その他			<p>平成 23 年分の給与計算に使用します。平成 23 年の予定を記入してください。平成 22 年分の書式から若干変更になっています。特に 16 歳未満の扶養親族について記入する欄を間違えないように注意してください。</p> <p><b>この申告内容に変更があった場合には速やかに総務部までご連絡ください。</b></p>
所轄税務署長	給与の支払者の名称(氏名)	(フリガナ) あなたの氏名																																																		
税務署長	給与の支払者の所在地(住所)	あなたの住所又は居所																																																		
区分等	氏名	あなたの続柄	生年月日	老人控除対象配偶者又は老人扶養親族(昭和16.1.1以前生)	特定扶養親族(昭和64.1.2生)(平成7.1.1生)	職業																																														
A 控除対象配偶者																																																				
B 控除対象扶養親族(16歳以上)(平成11.1以前生)	1			同 配偶等・その他																																																
	2			同 配偶等・その他																																																
	3			同 配偶等・その他																																																
	4			同 配偶等・その他																																																
	5			同 配偶等・その他																																																

## 2. 提出期限

平成 22 年 11 月 日 ( ) まで 期限厳守でお願いします。

## 3. 提出先

総務部 まで(内線: )

## 4. その他

・書類等に不備がある場合には年末調整ができないことがあります。この場合、確定申告で還付等の手続きを受ける必要があります。

・不明点がある場合には、総務部 まで(内線: ) 連絡をお願いします。